

九歴たより

No.64
2026. 10

令和8年度九州歴史資料館特別展

「柳河藩立花家—宗茂と歴代の威儀と装い—」

令和8年10月10日(土)～12月6日(日)



立花家は、初代・立花宗茂(たちばなむねしげ) (1567～1642) から幕末の十二代・鑑寛(あきとも) (1829～1909) まで、歴代が柳河藩主を務めた大名家です。近代に入って大名の任を離れてからも、屋敷であった御花(おはな)に拠点をおき、農業振興や観光促進に尽力して今日に続いています。立花家に伝わる武具甲冑や調度品などの大名道具は、柳川の歴史を語る上で欠くことのできない貴重な文化財であり、400年の長きにわたって柳川の地で大切に守られてきました。

特別展では、宗茂をはじめとする歴代藩主の武具甲冑や、茶の湯や能に関わる道具類、女性たちが手にした婚礼調度など、豪壮かつ華麗な大名道具の数々を一堂に紹介します。これらは、武家として、また統治者としての立花家が、その威儀と格式を示すために整えた公的な装いであり、家と柳川の地の重要性を内外に示す意味をもつものでした。

選りすぐりの道具類を通じて、立花家が柳川の地で果たしてきた役割について考え、地域に伝えられた文化財の重要性に改めて注目する機会としたいと思います。



立花宗茂像(寛永20年、福嚴寺蔵)



鉄鱗革包月輪文最上胴具足
(桃山時代、立花家史料館蔵)



萬唐草祇園守紋散蒔絵八角貝桶・合貝
(江戸時代後期、立花家史料館蔵)

※会期中に展示替えがあります。
詳しくは九州歴史資料館ホームページ
をご覧ください。

令和8年度下半期の展示

○企画展「発掘速報展2026」

九州歴史資料館が令和6～7年度に調査を行った久富古墳群（みやこ町・古墳時代）、坂本町遺跡（柳川市・近世）、垣生遺跡（中間市・弥生時代）、十郎丸長谷古遺跡（久留米市・弥生時代～近世）、大宰府条坊跡（太宰府市・古代～中世）、大野城跡（太宰府市・古代）の調査成果をいち早く紹介します。

会期：令和8年11月17日（火）

～令和9年3月7日（日）

会場：九州歴史資料館第2展示室



垣生遺跡出土遺物

○企画展「絵図で旅する九州の古社寺-九州歴史資料館所蔵作品から-」

会期：令和9年1月27日（水）～令和9年3月22日（月・祝）

会場：九州歴史資料館第1展示室

九歴名品探訪

Vol.21

齋藤秋圃筆「蘭亭曲水図屏風」

江戸時代の筑前地域を代表する絵師の一人である齋藤秋圃（1772～1859）が、嘉永4年（1851）頃に描いた屏風です。書聖と仰がれる四世紀の中国の人、王羲之が、浙江の紹興の風光明媚な場にあった蘭亭に、文士たちを招いて開いた曲水の宴を描いています。人間観察と人物描写にすぐれた秋圃の魅力がよくあらわれた作品で、王羲之が愛した鷺鳥や彩りを添える花々の、要を得た描写も見逃せません。



《収藏品データベース 公開中》



九州歴史資料館及び三分館では、博物館法改正に伴うデジタル・アーカイブ化を推進するため、令和7年度から「収藏品データベース」を開設し、公式HPで公開しています。これまでに蓄積した膨大な数のデータの内、準備が整ったものから随時公開しています。全データの公開にはしばらく時間がかかりますが、随時追加・更新していますので是非ご利用ください。

『九州歴史資料館HP』に左記パナーを設置していますので、そちらをクリックしてご利用ください。

『石仏の傷みを診る』

大宰府政庁跡の背後にそびえ立つ四王寺山。ここに江戸時代後期、33体の石仏からなる「四王寺山三十三観音霊場」が開かれました。今は、四王寺山三十三石仏と呼ばれ、傍らにお花や賽銭が供えられており、信仰の対象として生き続けています。

ところが、近年、石仏の傷み（劣化）が顕著になり、当館とこの石仏を見守る太宰府市景観・市民遺産育成団体の四王寺山勉強会が共同で、劣化の現況を調査しました。医療に例えるなら「石仏の健康診断」です。この健康診断のことは Study18（九歴だよりNo61）で紹介しましたが、ここでは、その後まとめた、健康診断の結果から、石仏がどのような傷みがあるのか、診断結果をお知らせします。

まず、一番多くみられる傷みは、地衣類・藻類やコケ、樹木など植物の繁茂です（写真1）。自然豊かな山中にあるため、ほぼすべての石仏に生じています。これが、石仏表面を覆い、亀裂に入り込むなどすると、外見も変わり、やがては石材を傷め、仏さまや刻銘を失うことになります。また、表面の摩滅、剥落、亀裂、欠損も多くみられ、仏さまの姿を損ねている石仏も見られます（写真2）。これらは、江戸時代以来、長期間、風雨にさらされたことや、直射日光を受けることで生じる温度変化が原因と考えられます。

一方で、割れてしまった石仏を接合したり（写真3）、石仏と置かれる台座や自然石とを、おそらく転倒防止のためであると思いますが、モルタルのような材料で固定したりする（写真4）、応急処置が施されている石仏もありました。これは、過去にこうした傷みを心配して、保存のために手当てしてくださった方がいることを示すものです。石仏を大事に思い、保存する営みは過去からあったことがわかったのも今回の重要な診断成果です。

このような傷みは、時間の経過とともに少しずつ、進行する心配がありますが、今後は、石仏の定期検診を行い、石仏の健康増進に努めたいと思います。

なお、この健康診断の結果は、パネル展「四王寺山三十三石仏の健康診断」（令和8年9月25日～12月20日）にて詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。



（写真1）コケに覆われた様子



（写真2）石材の剥落・欠損



（写真3）割れの応急処置



（写真4）石仏と台座の固定

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	特別展：10月10日(土)～12月6日(日)「柳河藩立花家～宗茂と歴代の威儀と装い～」 企画展：11月17日(火)～3月7日(日)「発掘速報展2026」 1月27日(水)～3月22日(月・祝)「絵図で旅する九州の古社寺-九州歴史資料館所蔵作品から-」 特集展示：3月9日(火)～「きゅうおにとタイムトラベル-大昔のくらしと国づくり-」 パネル展：9月25日(金)～12月20日(日)「四王寺山三十三石仏の健康診断」 12月22日(火)～2月28日(日)「世界遺産「神宿る島・宗像沖ノ島と関連遺産群」 3月2日(火)～3月14日(日) 筑紫地区文化財写真パネル展
古代体験	毎週日曜日、九歴ボランティアによる「古代体験」を実施（予約不要、有料・無料体験有）
ミュージアムトーク &バックヤードツアー	毎週日曜日、14時からバックヤードツアー（予約不要、無料） 15時からミュージアムトーク（予約不要、第1・3展示室にて開催の場合は有料）を実施
講座・イベント	九歴講座：毎月第2土曜日 定員160名 全席指定制（要事前申し込み） タペのギャラリートーク：企画展、特集展示にあわせて開催（最終金曜日） イベント：10月18日(日) 機械り体験・組紐体験（実用編） 10月25日(日) 特別展開催記念茶会 11月8日(日) 文化財めぐり「立花家ゆかりの地をめぐる」 11月15日(日) アクロス・ミュージックキャラバンin九州歴史資料館 11月22日(日) 古代体験まつり 12月5日(土) ミュージアムナイト2026 1月16日(土) キッズミュージアム 2月28日(日) Myおひな様・組紐体験
発掘調査	県内遺跡発掘調査・大宰府史跡発掘調査
求菩提資料館 〒828-0085 豊前市大字島井畑247 TEL・FAX 0979-88-3203	常設展：「求菩提修験道の世界」 企画展：10月24日(土)～11月29日(日) 求菩提山開山伝説1500年記念特別展「縁起と開山～豊前六峯の山々～」 令和9年1月30日(土)～3月22日(月・祝) 早春企画展「おひなまつり」 市民歴史講座：10、11月に実施 史跡ガイド活動：申込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします
甘木歴史資料館 〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL 0946-22-7515	企画展：10月27日(火)～12月27日(日) 平塚川添遺跡公園開園25周年記念「甕棺に眠る・甘木・朝倉地域の甕棺墓(仮)」 関連イベント：11月8日(日)記念講座「福岡の甕棺墓と甘木・朝倉の甕棺墓(仮)」 11月28日(土)体験イベント「王様が死んだ！甕棺に入れようin 甘歴」午前、午後定員各10名（事前申込み制） 講座：11月8日(日)甘木紋り体験講座 オリジナルエプロンを作ろう 定員10名（対象：小学5年生以上）※小学生は保護者同伴 自主展示：10月20日(火)～11月1日(日)第36回秋酔アート展 イベント：3月28日(日)さくらコンサート
柳川古文書館 〒832-0021 柳川市隅町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	通常展：1月5日(火)～1月31日(日)「日記の世界」 企画展：8月26日(水)～10月25日(日)「時代之眼～鄧南光写真展～」 10月28日(水)～12月27日(日)「馬に乗る柳河武士」 2月4日(木)～3月31日(水)「松井家・立花家のおひなさま」 講座：古文書解読講座（初級編・中級編・応用編）毎月1回（第4日曜日） 歴史文化講演会：12月19日(土)企画展「馬に乗る柳河武士」に関連した内容（会場 柳川市立図書館）



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834

URL <https://kyureki.jp/>

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
観 覧 料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・障がいのある方及び付き添いの方 無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休 館 日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)



ホームページ



X



YouTube

